

和歌山県の地震

令和6年9月

1. 和歌山県の地震活動

震央分布図	・・・・・・・・ 1
概況	・・・・・・・・ 1
断面図	・・・・・・・・ 2
和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧	・・・・・・・・ 3
震度分布図	・・・・・・・・ 4

2. 地震一口メモ

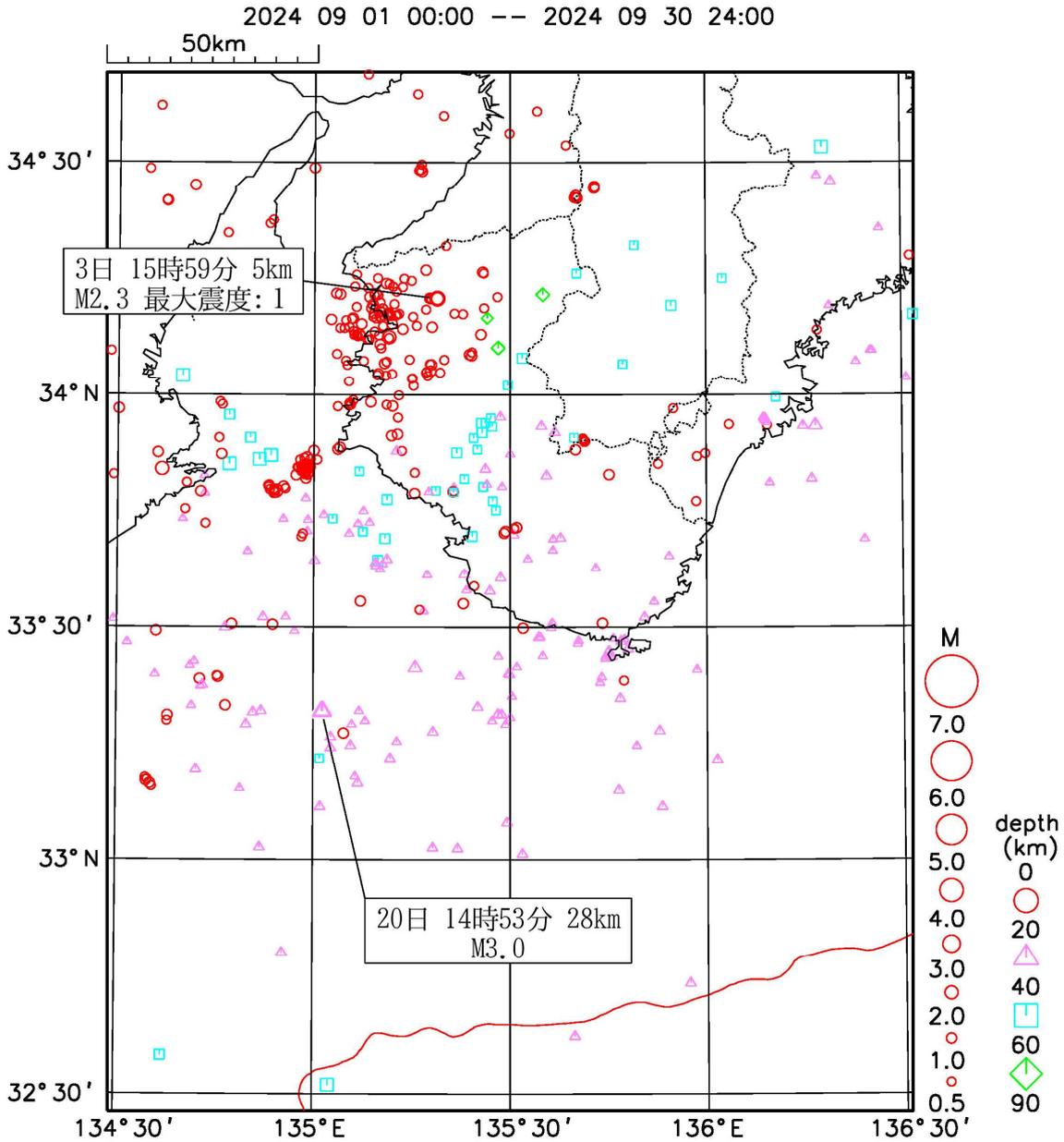
震度階級と長周期地震動階級	・・・・・・・・ 5
---------------	------------

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】



震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

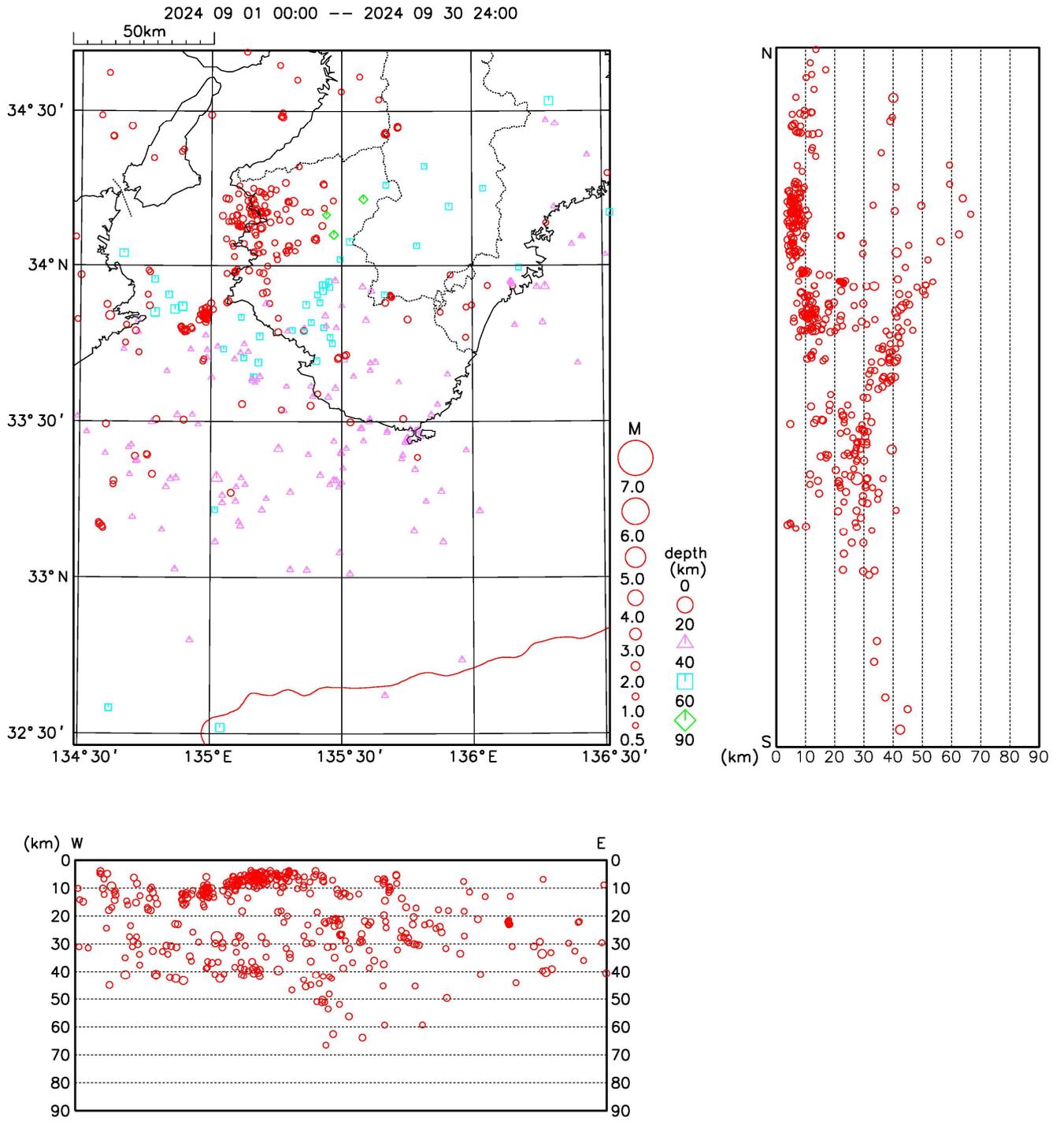
図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

9月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は13回（前月は19回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、20日14時53分の和歌山県南方沖の地震（深さ28km、M3.0）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

9月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、1回（前月2回）でした。

【 断面図 】



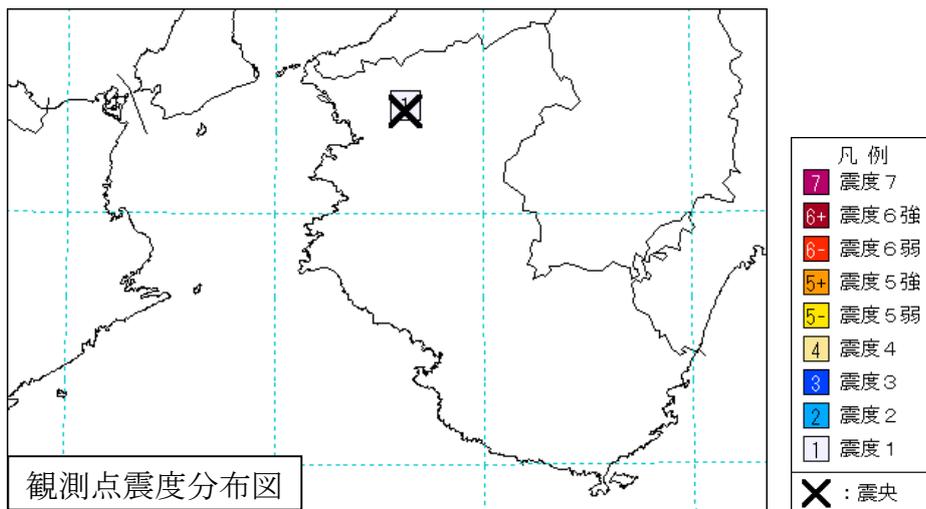
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

発震時（年月日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
各地の震度（和歌山県内のみ掲載）					
2024年09月03日15時59分	和歌山県北部	34° 12.4' N	135° 18.8' E	5km	M2.3
和歌山県 震度 1：紀の川市貴志川町神戸*					

地点名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【震度分布図】

2024年09月03日15時59分 和歌山県北部の地震（深さ5km、M2.3）



2. 地震一口メモ

震度階級と長周期地震動階級

地震の揺れの強さの指標には、「震度階級」と「長周期地震動階級」があります。

気象庁は、地震が発生し、強い揺れ（震度5弱以上または長周期地震動階級3以上）が予想される場合に、強い揺れが予想される地域及び震度4が予想される地域へ緊急地震速報（警報）を発表します。

また、観測した震度や長周期地震動階級は、地震情報でお知らせします。

「震度階級」は、地震による地表面の揺れの強さの指標で、震度0～震度7までの10階級あります。

地震による地表面の揺れは、地盤や地形に大きく影響されるため、同じ市町村内でも場所によって震度が異なることがあります。

震度が同じであっても、地震動の振幅、周期及び継続時間などの違いや、対象となる建物や構造物の状態等により被害は異なります。



図：気象庁HPより (<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/now/shindo/index.html>)

「長周期地震動階級」は、概ね14、15階建以上の高層ビルの高層階を対象にした揺れの強さの指標です。階級1～階級4までの4階級あります。

震源が浅くて大きな地震ほど長周期地震動が発生しやすくなります。

長周期地震動による周期が長い大きな揺れは、短い周期の波に比べて減衰しにくいので、遠くまで伝わります。東北地方太平洋沖地震では、震源から約700km離れた大阪市の高層ビルで、長周期地震動で大きく長く揺れたことにより、内装材や防火扉が破損したり、エレベーター停止による閉じ込め事故が発生したりしました。



図：気象庁HPより (<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/choshuki/index.html>)

令和6年11月5日（火）に緊急地震速報の全国的な訓練を実施します。

詳しくは気象庁ホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/nc/kunren/kunren.html>

※訓練用の緊急地震速報は、テレビ・ラジオの放送や、携帯電話・スマートフォンの緊急速報メール・エリアメールには流れません（一部のコミュニティFM等を除く）。